

2×4 立て掛けシェルフ 組み立てマニュアル

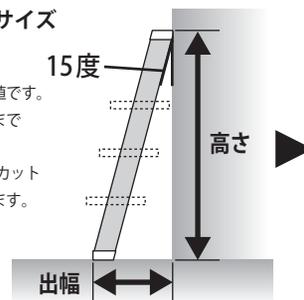
① パッケージ箱の裏面、設置サイズの計算を参考にして木材をカットします。

- 2×4 材 (断面 38×89 mm)
長さ 1600mm 以内 × 2 本
- 棚板
板厚 15 mm 以上 / 横幅 1000 mm 以内
/ 奥行 350 mm 以内 × 3 枚

塗装などの仕上げはこの時点で加工しておきましょう！

● 2×4 材の長さによって設置サイズが変わってきます。

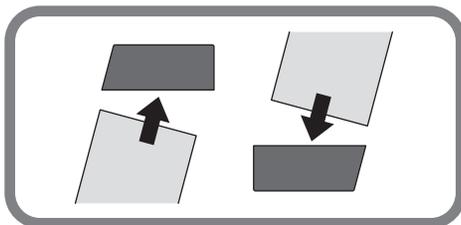
- ※プラスチックの前後パーツを含んだ数値です。
- ※棚のサイズは含まれていません。あくまで左右の支柱のみの数値です。
- ※2×4 材のサイズには誤差があり、またカット時の工作精度等によっても多少前後します。



大体の参考数値は以下のようになります。

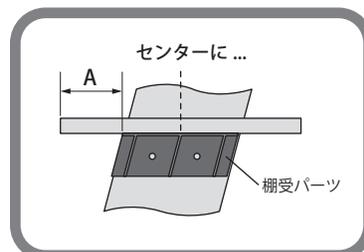
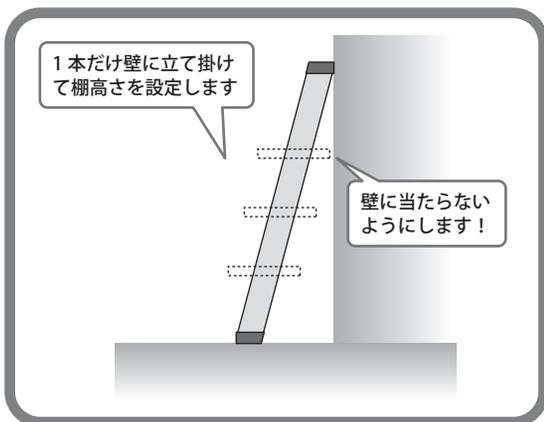
2×4材 (単位 mm)		
全長	高さ	出幅
500	516	221
600	613	246
700	709	272
800	806	298
900	902	324
1000	999	350
1100	1096	376
1200	1192	402
1300	1289	428
1400	1385	454
1500	1482	480
1600	1579	505

② 2×4 材に上部パーツと下部パーツをかぶせます。

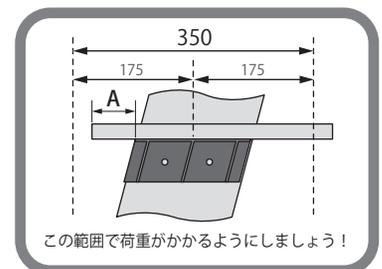


- ・きつくて入りにくい場合は、無理をせずに入る部分を紙ヤスリ等で削ったりしながら、少しずつ入れていきます。
- ・反対に簡単に抜けてしまうほどゆるい場合は、中に入る部分にテープなどを巻いて緩まない程度に調整してください。
- ・しっかり奥まで入れてください！
- ・保護シートの小さい方が上(壁)側、大きい方が下(床)側です。

③ 棚の高さを設定します。

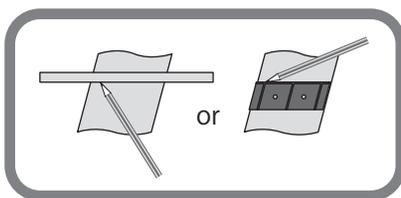


棚受パーツが、棚板の奥行きをほぼセンターに来るようにしてください。またこの時、棚受パーツから前側に出るサイズ A を測っておきます。



センターに設定しにくい場合でも、棚受パーツの真ん中から前後 175mm の範囲で荷重がかかるように考慮して位置を決めましょう。

壁に実際に 2×4 材を立ててみます。棚板を当てながら、完成した形を想像して棚の位置を設定していきましょう。また上段になるほど壁面に当たりそうになりますが、壁面には当たらないように設定します。

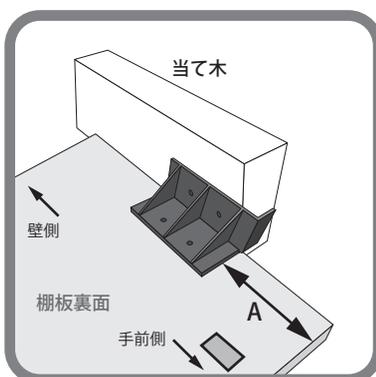


棚板の底面と 2×4 材が当たるところに鉛筆などでマークを入れていきます。

これを 3 段分、片側の 2×4 材 1 本だけ行ってください！

必ず棚板は 3 枚設定してください。2 枚以下にすると本来の強度が得られなくなります。また棚板の間隔をあまり狭く設定すると本来の強度が出にくい場合があります。

④ 棚板に棚受パーツを仮ネジ止めします。



次に棚板に棚受パーツを仮ネジ止めしていきます。

手前側からの距離 A を合わせて 2.5mm 径程度の下穴をあけてからネジ止めします。2×4 材に沿う羽根部分の方向に注意しましょう。図のように当て木等を当てて棚板の木口と棚受パーツと面を、キチンと合わせるようにするのがコツです。

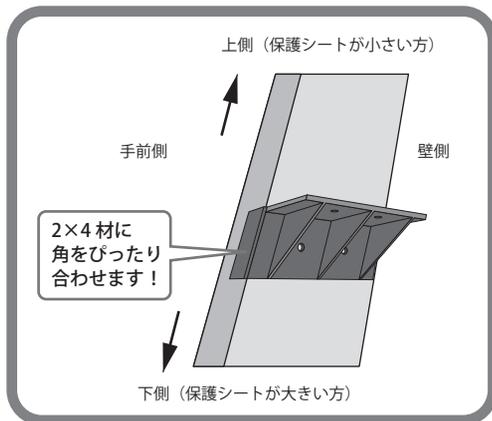
これを左右両側とも行ってください。

この時、手前側が後で分かるようにテープなどで目印を付けておきましょう！

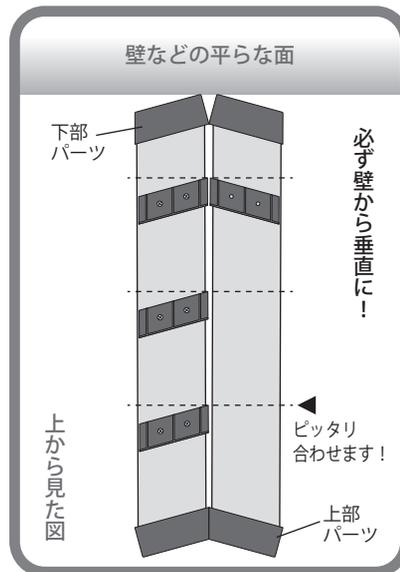
そして面倒ではあるのですが、後工程の為にネジ止めしたものを一旦ネジをゆるめて外しておきます。

2×4 立て掛けシェルフ 組み立てマニュアル

⑤ 2×4 材に棚受パーツをネジ止めします。



先ほどマークした線に合わせて棚受パーツをネジ止めしていきます。上下パーツをよく確認して向きを注意して取り付けます。必ず 2.5mm 程度の下穴を空けてから、3 段分ネジ止めしてください！

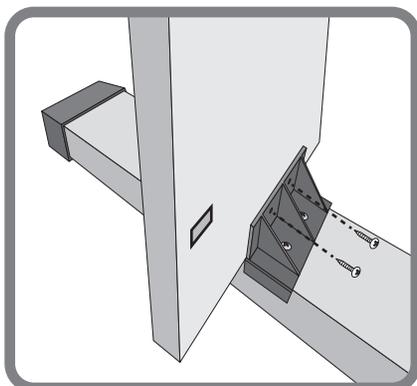


片側が出来上がったら、もう 1 本の 2×4 材を図のように揃えて、壁等の平らな面に押し付けて床などに置いてください。

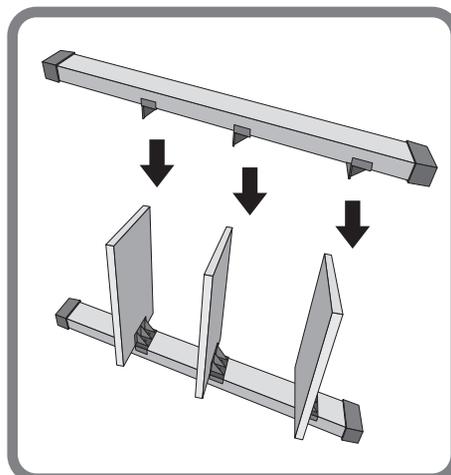
この時必ず壁から垂直になるようにします。上部パーツと下部パーツがピッタリ当たると良いでしょう。

その状態で、左右の棚受パーツの高さが、揃うように位置を決めて下穴をあけてから 3 段分ネジ止めします！

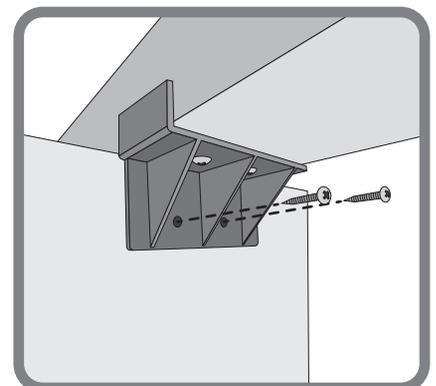
⑥ 全体を組み立てます。



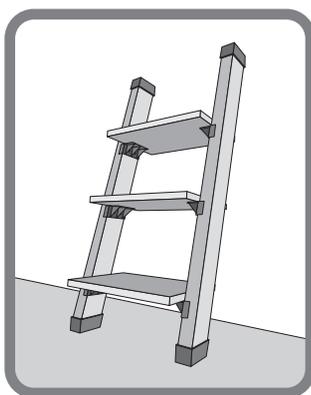
2×4 材のどちらか 1 本を、床や台などに置きます。棚板裏面の手前側目印で向きを十分確かめてから、棚板を立てた状態で、3 枚ネジ止めします。前に仮ネジ止めてありますので楽に入るはずですよ。



棚板が立っているその状態のまま、もう一本の 2×4 材を載せます。



上に載せた 2×4 材の方も、図のように棚板を 3 枚分ネジ止めします。



組み上がった立て掛けシェルフをネジがしっかり締まっていることを確認してから壁に立て掛けます。保護シートが全面で、床と壁に接しているのを確認して完成です！



- ・絶対に人は乗らないでください！また体重が掛かるような使い方はしないでください！
- ・小さいお子様やペットの動物などが触れる事のできる場所には設置しないでください！
- ・床と壁に接した部分が滑るような箇所には設置しないでください。

- ・床と壁に接している部分が滑るような場所には設置しないでください。また十分にそれを確認してからご使用ください。破損や事故の原因になります。
- ・設置や移動させる時に片側の 2×4 材を持って動かさないでください。破損や事故の原因になります。またサイズによっては 1 人で無理をせず 2 人以上で作業してください。
- ・畳の上に設置するのは滑りやすい上、重みで凹む事も考えられますので避けてください。
- ・壁に立て掛けるだけのシェルフですので、地震時には倒れる事も十分考えられます。貴重品は載せないようにしてください。また周りにも破損するようなものは置かないでください。